



校長室だより

2025 年 4 月 26 日
丹波市立進修小学校
校長 松田 垂矢

授業参観・学級懇談会にお越しいただきありがとうございます

4月26日(土)の参観日、学級懇談会には、たくさんの保護者、地域の皆様にお越しいただきありがとうございました。また、PTA 役員の方には受付や総会の書面決議の集計などもお世話になりました。



授業参観では、新学年になって1か月近くたち、新しい学習に意欲的に取り組む姿が見られます。1年生は、45分の授業の中で、体を動かしたり、ペアで考えたり、発表したりとスモールステップで活動を取り入れ、子どもの意欲と集中が途切れない工夫をすることで楽しく学習していました。

どの学年でも子どもたちが興味・関心を持てる課題を立て、視覚支援をしたり、具体物を使ったりしながら、それぞれの子どもの実態や発達段階に合わせた学習内容を取り入れています。また、今日はお家の人も一緒に入って課題を考えている学年もありました。





学級懇談会の間に縦割り班遊びをしていました。6年生が中心となって新しい縦割り班のメンバーで仲良く遊んでいました。

いよいよ6年生が主体となって、進修小を動かしてくれる出番となりました。縦割り班活動の良さは、まず、子どもの主体性を育てます。「自分がやってみよう」、「どうしたらみんなが楽しめるか」を考えるとといった姿勢が育ちます。また何かあった時に臨機応変に対応する力も養われます。そして、おもいやりや協力の心が育ちます。異学年と関わることで「わかりやすく伝えよう」「困っている子を助けよう」といった思いやりの心が育ちます。また、遊びを進める中で、6年生同士で協力する場面も多く、協働する力も自然と育ちます。

さらに、5年生以下の子どもたちの安心感・信頼感につながります。そしてこんな6年生になりたいという憧れをもち、よい成長の循環が生まれます。

子どもたち主体の活動を大人が見守りながら、さらに成長できるように今後も様々な活動に取り組んでいきたいと思います。見守っていただいた地域の皆様、ありがとうございました。